

- 対策を引続き検討する、全国理事会に資料を作って配付し検討してもらう。
- (2) 外国会員の会費を為替レートの変動により12\$とする。
- (3) 外国文献集の外国にいる会員については、領価3.5\$を4.0\$にする。
- (4) 気象集誌編集委員の増員について
新たに吉田泰治会員(電計室)を追加することを承認(本件は全理事に承認を求める)
- (5) 学会奨励金受領者の報告書様式について
北川理事提案の書式を若干変更して承認
- (6) 朝日賞候補者について
山本義一会員を推薦する。
- (7) 奨励金選考委員会から要望のあった受領件数の増加については前向きに検討する。
- (8) 第3回理事会議事録、議題2 正野記念論文集についてのうち「気象集誌の記念号とする」とあるを「気象集誌の特別号とする」に改める。
- (9) 昭和47年3月11日、日本気象学会、日本建築学会、日本生気象学会、都市計画学会、造園学会、空気調和衛生工学会、生物環境調節学会、都市環境工学会、日本農業気象学会共催で「都市建築と気象に関するシンポジウム」を開催することを了る。承す
- 承認事項 新入会員吉崎正憲外13名の入会を承認する。

気象研究ノート新刊・近刊のお知らせ

気象研究ノート編集委員会

1. 新刊「環境汚染特集号」について

「天気」2月号に予告しました気象研究ノート「環境汚染特集号」は、8月に発行されました。部数に余裕がありますので、ご希望の方は今からご注文ください。

第107号「環境汚染特集号」目次

大気大循環と汚染物質	菊池 幸雄
気候変動の人為的原因	根本 順吉
対流圏の汚染	川村 清
燃焼による空気成分の変化	当舎万寿夫
海洋汚染	杉浦 吉雄
人工放射能による大気汚染	葛城 幸雄
放射観測による大気汚染の現状	藤本 文彦
都市汚染に対する大気拡散研究の現状	伊藤 昭三
都市地域大気汚染	大喜多敏一

158ページ

配布価格： 通常会員 600円
団体会員 720円、会員外 780円

2. 近刊の予定について

[現在印刷中のもの]

第108号「メゾ気象力学」

—L. N. Gutman によるメゾ気象学的過程の非線型理論序説—(浅井富雄紹介)

目次：第1章 メゾ気象過程の熱流体力学方程式、第2章 大地の起伏の気流におよぼす影響、第3章 前線、第4章 テルミック、第5章 積雲、第6章 竜巻とトルネド、第7章 局地風

今年10月発行予定、148ページで配布価格は通常会員の場合600円程度。

第109号「対流に関する研究の現状と問題点」

—京都シンポジウム(1970)の報告—

目次は「天気」8月号参照。

本号添付のはがきで予約注文してください。

[現在編集中のもの]

「気象衛星」

「気象力学に用いられる数値計算法」

来年初めに発行予定です。